

2016.5.22 聖別会

# IMMANUEL

インマヌエル  
中目黒キリスト教会  
聖別会マンスリー

2016年

< 聖化の豊かさを味わう > 「聖化の説教」

「大きな喜びの日」

名古屋教会・内山勝牧師

「主を喜ぶことは、あなたがたの力である」(ネヘミヤ 8:10=別訳)

はじめに：

「喜び」は、健康なきよいクリスチャン生活のバロメーターである。それは喜ばしい出来事によって齎されるものではなく、内から湧き上がるものである。それをネヘミヤ記で学ぶ。

## 1. 真の必要に目覚めること

- ・ネヘミヤは、城壁再建という大事業を成し遂げたが、それに満足しなかった。
- ・彼は、エルサレムの民の霊的再建という、より大きな課題に取り組んだ。
- ・私たちも、表面的な解決で満足することなく、より深い課題に取り組む必要がある。「ホーリネスの恵みは常に深掘りされていく。」

## 2. みことばの光に照らされること

- ・城壁再建後の仮庵の祭りで、民は律法の朗読を催促した。そして約6時間、朗読と解き明かしに耳を傾けた。その反応は3つであった：
  - 理解：神の語りかけに真剣に耳を傾けた。
  - 賛美：神が生きて働いておられることを理解した時、彼らは神を賛美し、礼拝した。
  - 悔い改め：神の言と現状を比べて、彼らは自らの罪を深く自覚して泣いた。「悲しむものは幸いです。」

## 3. 真の悔い改め

- ・ネヘミヤは、悲しんでいる民に「主を喜ぶことは、あなたがたの力」だから、悲しんではいけないと勧めた。
- ・真の悔い改めは、悲しみで終わることはない。主の赦しを信じて立ち上がる時、主は私たちの心に喜びを返して下さる。その信仰は、気分によらず、主の贖いを素直に受け取ることである。

### 終わりに

- ・喜びは、喜ばしい出来事からくるものではなく、主ご自身との揺るがない関係から生まれる。
- ・もし、主との関係を妨げている「何か」が示されたら、素直に悔い改め、十字架の赦しを信じて立ち上がろう。